

議会の様子を知るには議会傍聴という手段が一般的で、私も数回経験しています。食の安全を願う請願を市議会に提出したときと、子育て中の仲間と誘い合って参加したときですが、とても貴重な体験でした。もっと大勢の市民の方に傍聴を経験してもらえたらと感じていました。



高 出 洋 恵 さん
しみず ひろえ
清水 洋恵さん

市民と議会にとって新しい風が吹いて来るように感じました。私も機会をみて是非参加したいと思っています。
条例制定の目的の一つに「市民福祉の向上」とありましたが、市民の側も無関心ではなく、機会をみて参加していくことも必要ではないでしょうか。

市民の声

いつになく長い揺れの地震を感じて家路につくと松本駅でも電車が3時間ぶりに動きました。翌日には東日本大地震の影響であることが分かりました。心配になりましたが、現地に住む友人に連絡をとりましたが、繋がっていませんでした。



吉 田 荻 無 里 立 人 さん
おぎ な さ たつ と
荻無里立人さん

津波による被害にどう対応するか、そして原発の安全性が問題になっています。報道の中で「自助・共助・公助」という言葉を解説の方が使っていましたが、炉心事故は「公助」以外対応のしようがありません。自然の猛威の前に人は立ち尽くす以外ありませんが、改めて原発の安全性について考えました。塩尻は津波も原発も直接心配ありませんが、同じ日本国内でのごとく、こうしたことに対して一国民として何ができたかを問い直す機会になりました。

市議会レポート

広報委員会の活動報告

政治や政治家への不信が広がり、身近な地方議会への関心が高まっている今日です。議会や議員の仕事が見えないとの声や、公費でまかなわれている報酬や政務調査費の適正化が叫ばれています。私たち塩尻市議会におきましても改革が進められており、これまで議員定数の削減や議会改革の柱とも言える議会基本条例の制定などをしてきました。広報委員会ではこのような議会や議員の活動を積極的に情報提供を行ってまいりました。委員会としての活動方針も定め、議会だよりの発行やホームページでの公開を実施していま

す。議会事務局の職員が議会質問の内容を執筆している自治体もあるようですが、塩尻市では議員自らが原稿を作成しています。編集作業においては委員が内容を厳しくチェック、事実であること、公人が公費を使い公記としての内容にふさわしい記事であること等を基本に、議会の透明性を心がけてまいりました。



広報委員会での編集作業

6月定例会の予定

5月 31日	開 会 日
6月 9日	代 表 ・ 一 般 質 問
10日	
13日	
14日	
15日	委 員 会 審 査
16日	
17日	
6月22日	閉 会 日

会議の日程は変更になる場合があります。間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。(ホームページでもお知らせしています)市議会ホームページ

塩尻市議会

議会あれこれ

- ◆議場のイスについて一言云っておきたい。傍聴席からはどう見えているのか……。なかなか困りものなのです。造り付けになっていて動かせない上、ふんぞり返ってすわるしかないデザインは時代錯誤の古めかしさを感じさせます。でもどうにもなりませんね。
- ◆注目されることとなった「あれこれ」。塩尻市議会基本条例第9条には「市政に係る重要な情報を議会の視点から、市民に提供しよう努めなければならない。」とある。議会の視点とは、議員同士の合意が前提となる。表現のあり方が適正かの判断は難しい。
- ◆5月3日からは、憑(たのめ)の里が祭り一色に染まる「小野おんばしら」。時には、いがみ合うこともある北小野と辰野町小野であるが、7年目に一度の御柱祭には立場を超えて思いを一つに。小さな里の元氣な姿を、被災地へと伝える役目もあるだろう。

議会広報委員会

- ◎山口 恵子 ○古畑 秀夫
- 金子 勝寿 石井 新吾
- 永井 泰仁 森川 雄三
- 中原巳年男 鈴木 明子

◎委員長 ○副委員長